

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人
三郷町社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

○地域福祉関連事業

1. 総務事業

①理事会・評議員会

理事会を4回（理事会2回・書面決議2回）、評議員会を3回（書面決議3回）開催し、事業計画・予算並びに事業報告・決算を、審議いたしました。

②人権研修会の開催

『差別をなくす強調月間』にあわせ、7月に社協役員・関係団体を対象に、研修を開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

2. 社協会員の募集事業

社協が、民間組織として活気ある運営と事業を推進するための貴重な自主財源として住民の方々にご協力を頂きました。

令和元年度実績 3,204 世帯 2,218,578 円

令和2年度実績 3,368 世帯 2,219,533 円

3. 企画・広報事業

社会福祉法人の独自性、社協の運営や活動状況、ボランティア活動の普及等の啓発を目的に「社協だより」を、町内約9,000部を4回（5月、7月、9月、1月）、累計約36,000部を発行しました。またホームページ上でも社協の開催事業等について報告しました。

4. ボランティアの育成・支援・啓発事業

①ボランティア保険加入の促進

ボランティア活動中の事故等に対処するため、グループ・個人等にボランティア保険の加入促進を図りました。（703名）

②ボランティア団体への助成

手話サークル「三郷」・点字サークルメープル・カトレア会（音声訳）・OHPさんごう（要約筆記）・絵手紙コスモス・むすんでひらいて（療育ボランティア）の団体へ助成を行いました。

③ボランティア協力校への支援

手話サークル「三郷」、点字サークルメープルの協力により福祉教育出前講座（手話・点字）を三郷小学校、三郷北小学校で各1日実施しました。

④さんごうボランティア連絡協議会への支援

連絡協議会加盟の 22 団体（グループ）のボランティア活動相互の連絡、調整、情報交換を効果的に推進するために支援を行いました。

（ボランティア登録者数 22 団体・ 520 名）

⑤災害ボランティアセンター設置に向けての取り組み

災害ボランティアセンターを設置・運営・ボランティア団体と関係機関の受け入れ及び連携を図る体制整備として奈良県社会福祉協議会が主催する研修・訓練に参加しました。

⑥ボランティア奉仕員養成講習会の開講

・手話奉仕員養成講座（基礎）	30 回	参加延べ人数	116 名
・聞こえのサポーター養成講座	3 回	参加延べ人数	6 名

（要約筆記）

5. 地域福祉事業

①高齢者スポーツや文化活動の振興

高齢者の生きがい対策として生き生きクラブ連合会と共催し、ふれあいゲートボール大会を予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。また、奥野杯囲碁大会も中止としました。

②老人福祉啓発

多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛されるとともに、生きがいを持てる健全で安らかな生活を保障されるよう、民生児童委員協議会と協力して、9月の老人福祉月間にポスターを町内掲示板並びに主要施設に掲示して啓発を行いました。

③緊急時用カプセルの配布

緊急時及び災害時には、秒単位の差が生死を分ける事も少なくありません。令和2年度は、救急隊に速やかに、本人の情報を伝えるために、情報カードを入れた緊急時用カプセルを、単身高齢者世帯の希望される世帯計 30 世帯に配布しました。

④老人福祉センターの教室

町内高齢者の憩いの場である老人福祉センターにおいて実施される教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑤生き生き大学の開校

毎年、開催している生き生き大学は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑥『さんごうふれ愛フェスタ』の開催

「子育て支援」「障害者支援」「ボランティア活動」の充実を図り、誰もが社会の一員としてごく当たり前に関生活できる町づくりを目的に『さんごうふれ愛フェスタ』を開催する予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑦児童福祉啓発

複雑化、多様化する社会の中で、児童を取り巻く環境がますます悪化していることを踏まえ、次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育ち、家庭や地域で心豊かに生活できる環境づくりを推進していくため、民生児童委員協議会と協力して5月の児童福祉月間に、ポスターを町内掲示板並びに主要施設に掲示して啓発を行いました。

⑧ふれあい昼食会

町内在住の70才以上のひとり暮らしの方を対象に「ふれあい昼食会」を、民生児童委員協議会の協力を得て開催する予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑨愛のふれあい餅つき

従来の餅つきを中止し、市販のお餅を購入して、民生児童委員・社協役員の協力のもと、12月22日にお餅を袋づめし、翌23日から70才以上のひとり暮らし高齢者785名に民生児童委員を通じて配布しました。

⑩こども食堂

食事を満足に食べられない、また一人で食事を摂る「孤食」によるコミュニケーションが不足している子どものために「こども食堂」の開設にあたり、8月4日、奈良こども食堂ネットワーク事務局の方を講師に招き、「こども食堂ってなあに？」を演題に講習会を開催しました。（参加者 23名）。また、講習会参加者に、「こども食堂」のボランティア登録を依頼したところ22名の登録があったことから「35こども食堂ボランティア連絡会」を発足し、こども食堂の運営やコロナ禍での対応を協議しました。

（連絡会 8回開催）

6. 障害者福祉事業

①療育教室の開催

幼稚園・保育園就園前の幼児を対象に、遊びをとおして心身の発達、知的活動情緒の安定、社会生活などの調和的発達を促し、豊かに伸び行く可能性を引き出すこと、また、就園後の幼児に対しては、個別プログラムに添った療育を行い、小学校就学へとつなげていくことを目的として実施しました。

- ・『むすんでひらいて』（新型コロナウイルスの影響のため、7月より開催）
毎週火・水・木曜日 （3教室）
年 76回 参加延べ人数 178名
- ・『つばさ』（新型コロナウイルスの影響のため、6月23日より開催）
毎週火・水・木曜日（6教室）
年 99回 参加延べ人数 332名

②子育て支援講演会の開催

2月に子育て支援講演会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

③障害者親子水泳教室の開催

知的障害または発達障害のある小学校1・2年生とその保護者を対象に町温水プールで、健康の維持・増進及び機能向上と親子関係をより深めることを目的に実施しました。

（春期 新型コロナウイルスの影響より中止）

（秋期 6回 参加延べ人数 9名）

④意思疎通支援事業

手話奉仕員・手話通訳者の派遣（手話通訳登録者 8名）

- ・手話通訳派遣申込者（個人） 6名 ・手話通訳派遣件数 117件
- ・手話通訳派遣申込者（町行事）4件 ・手話通訳派遣時間 265時間

要約筆記者および待機者の派遣

（要約筆記登録者 4名 ・要約筆記待機者 3名）

※要約筆記待機者：要約筆記者の受験資格のある者

- ・要約筆記派遣申込者（個人） 0名 ・要約筆記派遣件数 0件
- ・要約筆記派遣申込者（町行事） 0件 ・要約筆記派遣時間 0時間

⑤在宅身体障害者いきいきふれあい旅行の開催

10月に在宅身体障害者いきいきふれあい旅行の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑥在宅心身障害者いきいきふれあいキャンプの開催

- ・18歳未満の療育手帳A・B所持者対象

8月に在宅心身障害者いきいきふれあいキャンプの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

- ・18歳以上の療育手帳A・B所持者対象

9月に在宅心身障害者いきいきふれあいキャンプの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑦当事者組織の支援・育成

手をつなぐ親の会及び身体障害者福祉協会への支援を行いました。

7. 住民相談所との連携

住民相談所の運営について、町の人権施策課と連携を行いました。

8. 生活福祉資金の貸付事業

生活福祉資金の貸付（奈良県社会福祉協議会事業）

- ・低所得者の自立更生を図るために貸付けを行いました。また、滞納者に対する償還指導や援助活動等も行いました。

相談延べ件数 10件

貸付件数	教育支援資金	2件	1,222,000円
	緊急小口資金	3件	193,000円

- ・新型コロナウイルス関連貸付（奈良県社会福祉協議会事業）

新型コロナウイルスの影響により、収入減となった方や、失業した方に対し、生活福祉資金の特例措置として貸付を行いました。

相談延べ件数 498件

貸付件数	緊急小口資金（特例貸付）	181件	35,400,000円
	総合支援資金（特例貸付）	129件	68,100,000円
	総合支援資金（特例貸付 延長貸付）	78件	41,700,000円
	総合支援資金（特例貸付 再貸付）	30件	16,500,000円

9. 日赤活動事業

①献血事業

町内で延べ 3回実施し、147名の方からご協力を頂きました。特に夏季は年間を通じて輸血の多い期間でありながら献血者数が少ないため、8月17日「献血キャンペーン」を実施し、50名の方のご協力を頂きました。

②日赤奉仕団活動への協力

災害救助活動、介護講習会等、幅広い活動の役割を担っている日赤奉仕団に協力するとともに、赤十字思想の普及充実・強化を図りました。

10. 募金運動事業

自治連合協議会及び各自治会等の協力のもと、日赤社員増強運動（5月）、共同募金運動（10月～12月）を実施しました。

11. 即売会の実施

町民文化祭において、各団体による即売会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、町民文化祭が中止となり、即売会は中止となりました。

12. 新型コロナウイルス関連事業

町より受託し、下記の事業を実施しました。

- ・令和2年度特定定額給付金事業支援業務
- ・令和2年度三郷町高齢者衛生用品等配布事業業務
- ・「三郷町プレミアム付商品券事業」商品券委託販売業務

○生活支援・介護予防事業

1. 生活支援体制整備事業（地域包括ケアシステムの構築にむけて）

三郷町からの生活支援体制整備事業の委託を受け、生活支援コーディネーターを1名配置し、長寿健康課・地域包括支援センター・まちづくり推進課・住環境政策課や各種団体などと連携・協働しました。

今年度は、西和警察と住環境政策課と連携し、通いの場（いきいき百歳体操等）20箇所において『高齢者特殊詐欺の防止啓発について』の周知活動を行いました。

また、コロナ禍における地域ニーズの調査として通いの場でのアンケート調査などを行いました。

2. 生活支援事業

①訪問型サービスB事業

町から依頼のあった対象者に対し住民ボランティアを派遣し、在宅で自立した生活が出来るように生活支援サービスを提供しました。

（対象者6名 267回派遣）

②ワンコイン生活支援サービス事業

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるように、『いつかはお世話される側』が合い言葉の相互会員制の住民参加型の有償ボランティアによる生活支援サービスを提供しました。

（令和2年度 利用会員44名 ・登録援助会員19名 695回派遣）

③有償ボランティアの発掘・育成（住民主体の生活支援サービスの構築）

住民主体による生活支援サービスの担い手（有償ボランティア）育成の為にサポーター養成講座を9月に開催しました。（受講者 11名）

④小地域ネットワーク活動の推進

自治会を単位としてボランティアを募り、一人暮らし高齢者・高齢夫婦世帯などの見守り・声かけ活動とふれあいサロンなどの地域の特性を生かした活動の支援を行いました。

また、小地域ネットワーク連絡会を7月9日に開催し、コロナ禍において各ネットワーク間での情報交換会を行いました。そして、周知活動として社協広報誌にも各ネットワークの紹介記事を掲載しました。

⑤配食サービス事業

調理困難な概ね65歳以上の方を対象に、毎週火・金曜日にボランティアの協力でお弁当を配達し、あわせて安否確認等も行いました。

延べ配食数 1,734食

利用者 火曜日 約20名、金曜日 約15名

⑥超初心者向け男性の料理教室・男性料理サポーター養成事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑦介護用品（車いす）体験及び貸出

- ・車いす体験講習会 小学校4年生対象

三郷小学校、三郷北小学校に社協職員が訪問し、子ども達が実際に車いすに触れて介助体験を通じ、普段の生活ではわからない部分に気づき、社会の一員として福祉についての理解を深めてもらう車イス講習会を実施しました。

三郷小学校 令和2年11月18日（3クラス 76名参加）

三郷北小学校 令和2年11月16日（4クラス 118名参加）

- ・車いす貸与 車いす台数 12台 貸与回数 延べ 28回貸出

3. 日常生活自立支援事業

認知症・知的障害・精神障害のある方など判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用援助などを行いました。

（利用者 8名）

4. 介護予防事業

①地域づくりによる介護予防の推進（住民主体の通いの場の立ち上げ支援）

地域における住民主体の介護予防の場・通いの場づくりとして『いきいき百歳体操』『誤嚥にナラン！体操』などの普及・啓発を行い、週1回地域の誰もが通える体操を中心とした通いの場を目標の30箇所に向け、立ち上げ支援と継続支援を行いました。

令和2年度は4月～6月中旬までは新型コロナウイルスの影響でいきいき百歳体操（住民主体の通いの場）は休止となりました。

そのため、生活支援体制整備事業と連動して、休止中の4月末と5月末に参加者の安否確認と通いの場の再開支援にあたって、地域のお世話役さんのご理解とご協力を得て、生活支援コーディネーターが作成した安否確認の文章と運動のプリントを持って、地域の方の家を訪ねて頂いたり、ご自宅へのポスティングなどによる協力をお願い致しました。

（4月・5月ともに440名に配布 計7枚のプリントを配布）

（令和2年度 13自治会地区 4団体実施 計17団体 開始順に記載）

- ・里緑ヶ丘自治会館 毎週月曜日 午前
※12月末よりコロナ対策により休止中
（登録者 15名 23回実施 参加者 延べ 約345名）
- ・東信貴ヶ丘自治会館 毎週木曜日 午前
（登録者 25名 36回実施 参加者 延べ 約900名）
- ・介護予防教室卒業生の自主運動教室AM 毎週金曜日 午前
（登録者 15名 36回実施 参加者 延べ 約540名）
- ・介護予防教室卒業生の自主運動教室PM 毎週金曜日 午後
（登録者 15名 36回実施 参加者 延べ 約540名）
- ・夕陽ヶ丘自治会館 毎週木曜日 午前
（登録者 20名 36回実施 参加者 延べ 約720名）
- ・健康体操（生き生きクラブ）第2・4火曜日 午前
（登録者 12名 16回実施 参加者 延べ 約190名）
- ・城山台自治会館 毎週火曜日 午後
（登録者 30名 36回実施 参加者 延べ 約1,080名）

- ・いわせが丘自治会館（和み会） 毎週水曜日 午後
 ※2月中はコロナ対策で休み
 （登録者 25名 30回 参加者 延べ 約750名）
- ・城山台 優の会 毎週火曜日 午後
 ※12月から都合により休止中
 （登録者 10名 20回 参加者 延べ 約200名）
- ・美松ヶ丘自治会館 毎週火曜日 午前
 ※9月よりコロナ対策で自治会館が閉鎖となる
 （登録者 35名 10回実施 参加者 延べ 約350名）
- ・山上どんぐり会 第1木曜日・第3火曜日 午後
 ※令和2年度はコロナ対策のため4月～10月末まで休止
 （登録者 13名 10回実施 参加者 延べ 約130名）
- ・信貴ヶ丘ネットワーク 第2・4月曜日 午後
 （登録者 15名 17回実施 参加者 延べ 約250名）
- ・イーストヒルズ自治会館（J&B会） 毎週金曜日 午前
 （登録者 12名 36回実施 参加者 延べ 約430名）
- ・三室自治会館（寿クラブ） 第1・3水曜日 午前
 （登録者 40名 16回実施 参加者 延べ 約640名）
- ・立野北2丁目自治会館（小地域ネットワーク） 毎月3回 木曜日 午後
 （登録者 12名 36回実施 参加者 延べ 約430名）
- ・坂根自治会館（中学校福祉避難所） 毎週金曜日 午後
 （登録者 25名 32回実施 参加者 延べ 約800名）

・勢野北1・2丁目自治会館 毎週水曜日午後

(登録者 13名 36回実施 参加者 延べ 約460名)

(通いの場 17団体 総登録者 332名 延べ 参加者 約8,755名)

②地域リハビリテーション活動支援事業（自主的活動プログラム評価事業）

三郷町の通いの場（17箇所）に訪問し、いきいき百歳体操の指導や身体についての講義及び個別に姿勢や疾患、痛みについての相談・助言をおこないました。

また、三郷町開催の地域ケア会議や審議会等へ出席し、長寿健康課や包括支援センターと共に介護保険利用者の身体状況や疾患、ケアプランの内容等について助言や支援を行いました。

(訪問及び会議出席 72回)

③認知症予防事業

老人福祉センターにおいて運動や脳トレにより脳を活性化させ社会参加を促す、スッキリ教室を実施しました。

令和2年度は4月から6月初旬まで新型コロナウイルスの影響により事業を中止し6月中旬より新型コロナ対策の為に定員を15名から8名に変更し8教室から12教室に回数を増やして3密を回避し開催致しました。

また、高齢化率などの調査と地域の要望に合わせてスッキリサテライト教室を6箇所で開催を行いながら実施しました。

・スッキリ教室 1次対象教室

毎週月～水曜日 午前・午後 木曜日 午後11教室

(登録者 90名 367回実施 参加者 延べ 1,822名)

・スッキリ教室 2次対象教室

毎週木曜日 午前 1教室

(登録者 13名 32回実施 参加者 延べ 386名)

・スッキリサテライト 信貴山教室（東町・西町）

毎週金曜日 午前

(登録者 23名 31回実施 参加者 延べ 316名)

・スッキリサテライト 美松ヶ丘教室

毎週水曜日 午前

(登録者 23名 10回実施 参加者 延べ 207名)

- ・スッキリサテライト 高山教室
毎週月曜日 午前
(登録者 15名 30回実施 参加者 延べ 327名)
 - ・スッキリサテライト 東信貴ヶ丘
毎週金曜日 午後
(登録者 9名 31回実施 参加者 延べ 253名)
 - ・スッキリサテライト 三室教室
毎週火曜日 午前
(登録者 19名 25回実施 参加者 延べ 397名)
- (スッキリ教室 総登録者 192名 参加者 延べ 3,708名)

④運動器の機能向上事業

転倒骨折の防止及び加齢に伴う運動器の機能低下の予防・向上を図る運動を行いました。

毎週金曜日 午前
(登録者 6名 24回実施 参加者 延べ 47名)

⑤口腔機能向上事業

口腔ケアの必要性と効果的な口腔ケアの方法について、認識を深めるとともに、健口体操や唾液腺マッサージなどによる口腔機能・嚥下機能を高める教室を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。

⑥短期集中通所サービス事業（通所型サービスC事業）

三郷町地域包括支援センターより連絡を受け、社会参加や自立支援において状態改善を必要とする要支援者や事業対象者に対し、毎週金曜日の午後に3～6ヶ月の期間、リハビリテーション専門職（理学療法士）が家屋訪問と生活指導、体力向上により後の社会参加や自立支援の助言や提案を行いました。
(利用者 2名)

⑦社協フレイル予防サロン事業

フレイル予防で重要とされる社会参加を、誰でも気軽にできる音楽健康体操・カラオケやウォーキングなどのサロンをサロンサポーターと協働で実施予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。